



樹里安だより

ジュリアン

2009年1月
Vol. 24



— 安行の名所 (その11) —

九重神社 《川口市大字安行原2042》



旧原村氷川神社。創建は享保年間(1716~36)に密蔵院を中興した第十六世法印栄尊が、武藏国一ノ宮大宮氷川神社より勧請したと伝えられている。明治六年(1873年)に原村の村社となり、明治四十年(1907年)には、旧九ヶ村の末社を含む各鎮守を九社重ねて合祀し、九重神社と改称した。境内には、樹齢五百年のスダジイが2本ある。

日枝神社の ムクノキ

（川口市赤山219）

安行の植物が一斉に色づく季節に、赤山の日枝神社を訪ねてみた。この神社は昔でいう赤山村の総鎮守で、赤山城跡の入口に位置しており、関東郡代伊奈忠常が寛文13年（1673年）に創建した。県道越谷・鳩ヶ谷線から、2メートル程度の小道を進むと木立の茂るこんもりとした森に神社が姿を現す。神社の手前にある川口市教育委員会の説明版によると、この神社は、長い間に渡って神の住む空間として崇められて、地元の人々に大切にされてきたという。そのせいか、神社の持つ独特の荘厳さとは違い、親しみやすさを漂わす。

この森は、樹齢100年～200年になるものが多く、ヤブツバキ、クスノキ、エノキ、ケヤキ、ムクノキ、スダジイなどで構成されている。その中で、ムクノキは、社の前で、他の植物を従える迫力を持っていた。見上げると、手を広げたように枝が広がっている。黄色に色づいた葉が、葉の間から差し込む陽光に照らされて美しい。ムクノキは、椋鳥が好んで食べたことからこの名前がついたそうだ。寺社の境内にはよく植えられ、公園樹にも利用される。

また、古くから文献にも登場している。「枕草子」の一節を紹介しよう。

『九月つもごり十一月一日の程空うちくもりたるに風のいたう吹くに黄なる木の葉
とものほろほろとこぼれおつるいとあはれなり、桜の葉 榛の葉などこそおつれ十月
ばかりに木立多かる所の庭はいとめでたし』

神社の隣は公園で、憩いの場となっている。その先を覗くと自然に囲まれた赤山城跡がある。風光明媚という言葉がピッタリだ。辺りの緑は一つにつながっている。きっと空から見ると緑色の小さな点形にすぎないだろうが、そこは、確かに、動植物が息づく貴重な空間になっている。都市化が進む昨今において、この地域は、最後の砦なのかもしれない。

公園の端には、桜の古木がある。一冬を越え、桜の花が咲き、ムクノキの枝先に若葉が生まれる頃、もう一度この場所を訪れたい。



ムクノキ (ニレ科ムクノキ属)

- 学名 Aphananthe aspera planch.
- 分布 四国、九州、本州南・中部 朝鮮半島、台湾、中国大陸
- 高さ 20m 幹周り3mぐらいになる落葉広葉高木
- 用途 公園樹、神社境内植栽用、景観樹、屋敷林など
- 陽樹～中庸樹
- 生長はやや速い 深根性 耐風性 耐潮性 大気汚染に弱い
- 樹皮は灰褐色で、縦に小さい皮目がならび、浅いすじになる。
葉はケヤキに似ている。花は、淡緑色で春に咲く
果実は紫黒色
- ムクドリが好んで食べることが名前の由来である。



保存樹木
樹種 ムクノキ
所在地 赤山 219
(日枝神社)
身近な緑をいせつに
しましょう。
指定 平成 12 年 9 月 1 日
第 148 号
川口市



日枝神社の保存樹木

樹種	科名	指定年月日	指定番号	所在	幹周	樹高
ムクノキ	ニレ科	H12.9.1	148	赤山219	2.8m	23.0m



桜の花漬け

今年、川口緑化センターで発売された「樹里安アイス」は3種類あります。「安行寒桜」「山椒」「ゆず」で、「安行寒桜」は、花の塩漬けをアイスに混ぜ込んだ、甘さとしおらしさを味わえるものです。また安行で命名された「安行寒桜」は、安行地域のシンボル桜で、当センターの駐車場や安行出羽地域の伝右川沿い、安行原の密蔵院などで毎年3月のお彼岸近くになるとその可憐な花を見事に咲かせ、辺り一帯をピンク色に染めます。花弁は、5枚で淡紅色をしています。この花を塩と梅酢で漬けることになったのは、奈良の花漬けからヒントを得たことによります。



安行寒桜

桜の花漬けは、奈良県の吉野地方で吉野杉で作られた丸い器（わっぱ）に入れられて販売されています。この桜の花漬けは、ソメイヨシノやヤマザクラではなく、八重桜であるサトザクラを使っています。中でも紅色の大きな花の関山、フケンゾウがよく使われています。これらをお湯の中に浮かす「さくら湯」はもともと見合いの席のものといわれています。

この桜の花漬けがいつからのものかは定かではありませんが、

江戸時代の初め、花食い仙人といわれた人が好んで食べたことに始まったと伝えられています。

現在、この桜の花漬けが生産されているのは、神奈川県の小田原市です。小田原は全国でも有名な梅干しの産地で梅干し作りができる梅酢が利用できることから花漬けを作ることになったそうです。

最近は、花を食べることがブームになってきています。花漬けを利用した食品の代表としてあんパンがあげられます。塩味と甘さがあわさる人気作ですが、これがもとで広く認知されたといっても過言ではありません。

現在は、おにぎりやまぜこはん、サラダなどの家庭料理に、この花漬けが利用されたり、地域活性化などに利用されたりしています。



安行寒桜の花漬け





推奨植物紹介

カエデ属

秋になると美しく紅葉するカエデ類。日本では「万葉集」「源氏物語」などにも登場しているように、古くから愛されている植物です。現在でもたいへんポピュラーで個人庭や寺社などに多く植えられ、春の新緑、秋の紅葉と一年に二度楽しめます。

世界的にも日本、中国などのアジアだけでなく、アメリカ、ヨーロッパなどでも研究家・愛好家により多くの品種が作出されています。

- 学名: *Acer palmatum Thunb* (イロハモミジ)
- 科・属: カエデ科カエデ属
- 原産国: 日本
- 特徴: 落葉広葉高木 中庸樹~陰樹
- 分布: 九州、四国、本州南、中部で
- 植栽時期: 4月頃 又は 9月頃
- 肥料: 2月頃



《カエデ・もみじの品種》



祝

成人の記念

ケヤキ

ニレ科 ケヤキ属
(落葉広葉樹・高木・陽樹)

その堂々たる樹姿はひろく各地にみられる。新葉を初夏の風にひるがえし、落葉して枝こまやかなこずえが冬空を飾る。「われここにあり」の気概を示す。ケヤキは用材としても、長大な木材がとれることや、木目の美しさ、また磨けば光沢を放つことなどから尊ばれ、古くは「けやけき木」、すなわち「際だつ木」の名を与えられていた。それが転訛してケヤキ。将来への気概にあふれる成人の祝いに植えたい木である。

1. 特徴

開花期 4～5月、結実期10月。生長は早い。

2. 植えるときの注意

時期 11～12月・2～3月。

場所 深層壤土質で陽地好み。肥沃な場所に育つ。乾燥に弱いので注意する。

3. 管理のポイント

萌芽力が強く、せん定に耐える。

《他の木》



ヒノキ

常緑針葉樹
高木・中庸樹



マツ

常緑針葉樹
高木・陽樹



モモ

落葉広葉樹
小高木・陽樹



ヒメリンゴ

落葉広葉樹
低木・陽樹

参考：日本緑化センター 木を植えよう 記念樹にふさわしい木とそのいわれ



川口緑化センターの主なイベント結果報告

1 アサガオ・ほおずき市 樹里安アイス販売

平成20年7月12日(土)～13日(日)

夏の風物詩である「アサガオ・ほおづき市」を開催しました。行事中、江戸時代に流行した「変化アサガオ」の展示を行いました。また、川口の緑化産業のPRを図るため、「樹里安アイス」の製造・販売をしました。種類は、「安行寒桜」「山椒」「ゆず」の3種類でたいへん人気を博しました。



2 第67回 秋の安行植木まつり

平成20年10月11日(土)～13日(祝)

植木の里・安行の歴史ある植木まつり。川口の緑化産業の一つである盆栽及び盆栽の手入れ道具の展示などを実施しました。天候にも恵まれ、多くの来場者で賑わいました。



3 国際もみじシンポジウム in ジャパン

平成20年11月12日(水)～13日(木)

世界中のもみじの研究者・生産者が集い、もみじのシンポジウムが開催されました。もみじの研究成果の発表やもみじの品種展示などが実施されました。国内・海外から多くの方が参加し、たいへん盛況でした。



お知らせ

「平成20年度 川口市産業技術・技能者顕彰制度」に、安行で緑化産業を営む2名が推薦され「川口輝き賞」を受賞しました。

NO.	氏名	賞	業種	受賞理由
1	長嶋 守好氏 [長嶋薔薇園]	川口輝き賞	造園業	芽接ぎ技術など
2	横山 浩行氏 [(株)横山園芸]	川口輝き賞	造園業	造園技術など

～おめでとうございます～



光と植物

1. 光合成

植物が太陽などの光エネルギーを用いて、水と二酸化炭素から糖類など有機物や酸素を合成する過程をいいます。葉の細胞内にある葉緑体で行われます。



2. 陽性植物

強い太陽光を好む植物のことです。

3. 陰性植物

日陰でも生育する植物のことをいいます。観葉植物のうち草本のものはほとんど陰性植物です。

4. 光周性

日の昼と夜の長さの変化を正しく感じ取ることにより季節を知り、それに対応して生物が反応する性質を光周性といいます。

5. 短日植物

一定時間より短い日長(長い暗期)で花芽形成する植物のことをいいます。夏から秋に開花するものが多いです。
代表的なものとして、アサガオ、カラソコエ、コスモス、クリスマスカクタス、ポインセチアなどがあげられます。

6. 長日植物

一定時間より長い日長(短い暗期)で花芽形成する植物のことをいいます。春から夏に開花するものが多い。
代表的なものとしてキンギョソウ、ストック、キンセンカ、トルコギキョウなどがあります。

7. 屈光性

植物のある器官が外部の刺激に反応して刺激の方向と関係がある方向に向かって生長することを屈性と呼びます。刺激が光の場合、屈光性といいます。一方向しかあたらない場所で植物を育てると光に向かって生長します。



ジュリアン 樹里安
川口緑化センター・道の駅「川口・あんぎょう」
発行日：平成21年1月1日
発行：財団法人 川口緑化センター
〒334-0058 川口市安行領家844-2
TEL 048-296-4021
ホームページ：<http://www.jurian.or.jp>